

意欲の指標 (Vitality index)

1) 起床 (Wake up)	<ul style="list-style-type: none"> ● いつも定時に起床している ● 起こさないと起床しないことがある ● 自分から起床することはない 	2 1 0
2) 意思疎通 (Communication)	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分から挨拶する、話し掛ける ● 挨拶、呼びかけに対して返答や笑顔がみられる ● 反応がない 	2 1 0
3) 食事 (Feeding)	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分から進んで食べようとする ● 促されると食べようとする ● 食事に関心がない、全く食べようとしない 	2 1 0
4) 排泄 (On and Off Toilet)	<ul style="list-style-type: none"> ● いつも自ら便意尿意を伝える、あるいは自分で排尿、排便を行う ● 時々、尿意便意を伝える ● 排泄に全く関心がない 	2 1 0
5) リハビリ・活動 (Rehabilitation, Activity)	<ul style="list-style-type: none"> ● 自らリハビリに向かう、活動を求める ● 促されて向かう ● 拒否、無関心 	2 1 0

除外規定：意識障害、高度の臓器障害、急性疾患（肺炎など発熱）

判定上の注意

- 1) 薬剤の影響（睡眠薬など）を除外。起座できない場合、開眼し覚醒していれば2点
- 2) 失語の合併がある場合、言語以外の表現でよい
- 3) 器質的消化器疾患を除外。麻痺で食事の介護が必要な場合、介助により摂取意欲があれば2点（口まで運んでやった場合も積極的に食べようとすれば2点）
- 4) 失禁の有無は問わない。尿意不明の場合、失禁後にいつも不快を伝えれば2点。
- 5) リハビリでなくとも散歩やレクリエーション、テレビでもよい。寝たきりの場合、受動的理学運動に対する反応で判定する。

（出典：Toba K, et al: Geriatr Gerontol Int 2002; 2: 23-9.）